

- cultivated in a Cd<sup>2+</sup>-containing medium. *Plant Cell Physiol.* 26: 295-300.
- Iijima, T. & T. Sibaoka. Membrane potentials in excitable cells of *Aldrovanda vesiculosa* trap lobes. *Plant Cell Physiol.* 26: 1-14.
- Kaiharu, S. & A. Takimoto. Flower-inducing activity of Vitamine-K in *Lemna paucicostata*. *Plant Cell Physiol.* 26:89-98.
- Kondo, S. & S. Hamashima. Chironomid midges emerged from aquatic macrophytes in reservoirs. *Jap. J. Limnol.* 46:50-55.
- Sasago, A. & T. Sibaoka. Water extrusion in the trap bladders of *Utricularia vulgaris* L. A possible pathway of water across the bladder wall. *Bot. Mag. Tokyo* 98:55-66.
- Shimoda, M. Phytosociological studies on the vegetation of irrigation ponds in the Saijo Basin, Hiroshima Prefecture, Japan. *Jour. Sci. Hiroshima Univ. Ser. B. Div. 2 (Botany)* 19:237-297.

### 抄録 トチカガミ科諸属の分類 (1)

- 1). C. D. K. Cook & R. Luond. 1982. A revision of the genus *Hydrocharis* (Hydrocharitaceae). *Aquat. Bot.* 14: 177-204.
- 2). ——— & ——— . 1982. A revision of the genus *Hydrilla* (Hydrocharitaceae). *Aquat. Bot.* 13:485-504.
- 3). ——— & ——— . 1983. A revision of the genus *Blyxa* (Hydrocharitaceae). *Aquat. Bot.* 15: 1-52.
- 4). C. D. K. Cook, J.-J. Symoens & K. Urmi-Konig. 1984. A revision of the genus *Ottelia* (Hydrocharitaceae) I. Generic Consideration. *Aquat. Bot.* 18: 263-274.
- 5). R. M. Lowden. 1982. An approach to the taxonomy of *Vallisneria* L.(Hydrocharitaceae). *Aquat. Bot.* 13: 269-298.

1) トチカガミ属は明瞭に識別される3種が、地理的に隔離されて分布している。我が国に見られるトチカガミ *Hydrocharis dubia* (Blume) Backer は、中東のぞくアジア地域とオーストラリアの一部に分布するが、

マレー半島、スマトラ、ボルネオには産しないという。

2) クロモ *Hydrilla verticillata* (L. fil) Royle は一属一種とされ、分布、形態、受粉様式、生態などについての従来の知見が整理されている。なお、クロモの種内分化について、染色体数(2X、3X、4X、6Xがある)、アイソザイムパターンなどを利用して解析が進められつつあることを付記しておく。

3) 著者らは世界のスプタ属を9種2変種に整理した。この属の分類で重視されてきた種子の形態には変異が多いとし、花と葉の特徴に重点をおいて大きくまとめている。日本産のものに限ると、スプタがマルミスプタの変種 *Blyxa aubertii* L. C. Richard var. *echinosperma* (C. B. Clarke) Cook & Lüönd, comb. nov. として扱われ、ミカワスプタ *B. leiosperma* Koidzumi はヤナギスプタ *B. japonica* Maxim. の茎の発達の悪い一型として、そのシノニムにおとされている。最近愛知県で発見されたセトヤナギスプタは、ヤナギスプタの変種 *B. japonica* var. *alternifolia* (Miq.) Cook & Lüönd, comb. nov. とされている。(この項は、植物分類地理 35:148の再録)

4) ミズオオバコ属の特徴の整理と、検索表がまとめられている。世界に21種認められるとしているが、詳細な種属誌は続報にゆずられている。

5) 世界じゅうのセキショウモ属を次のようにまとめている (( )内は日本の該当種)。

- Vallisneria spiralis* L. var. *spiralis*  
V. *spiralis* L. var. *denseserrulata*  
Makino (コウガイモ)
- V. *americana* Michaux var. *americana*  
(セキショウモ、ヒラモ)
- V. *americana* Michaux var. *biwaensis*  
(Miki) Lowden, comb. nov. (ネジレモ)

雌花における雌ずいと仮雌ずいのゆ合あるいは分離の状態と、雄花における花糸のゆ合状態および雌ずい群基部の毛の有無だけを有効な分類形質と認め、他の形質はほとんど考慮せずに導かれた結論である。この分類に従うと、日本のセキショウモはアメリカの *V. americana* と同種であり、琵琶湖水系の固有種とされてきたネジレモが中南米に広く分布するということになる。この論文は、タイトルから察して一つの試論としてまとめられたものだろうが、いかにも荒削りで、基本的に再検討する必要がある。

水草には広い分布域をもつ種が多いため、その分類には広い地域から材料を集めて比較検討することが、とりわけ重要である。その意味で、今回紹介したような世界レベルの研究が開始されたことは、たいへん喜ばしいこと